

お得なチケット情報

早割ペア券

2400円(税込)

当日券(一般)を2枚購入するより600円お得!!

本展は前期後期で大幅な展示替えを行います。お二人でご覧いただくことはもちろん、お一人で2回お楽しみいただくことも可能です。

【販売期間】5月10日(金)～6月9日(日)  
【販売場所】「展覧会サイト、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット」ほか

グッズセット券

2000円(税込)

「応挙手ぬぐい」セット券

【販売期間】6月10日(月)～8月2日(金)  
【販売場所】「展覧会サイト、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット」ほか



※グッズは本展覧会内特設ショップで引換えます。※グッズは本展覧会中、会場内特設ショップでもお求めいただけます。

※画像はイメージです

観覧料(税込)	当日券	前売券	団体券
一般	1500円	1300円	1200円
高校・大学生	1000円	800円	700円
中学生以下無料			

●東京藝術大学大学美術館(開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイド、コンビニ店頭などで販売

●前売券は6月10日(月)から8月2日(金)まで販売

※団体料金は20名以上(団体観覧者20名につき1名の引率は無料)※障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

【巡回】 京都国立近代美術館 2019年11月2日(土)～12月15日(日)

東京藝術大学大学美術館 東京都台東区上野公園12-8

交通案内

JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分

京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分

当館には駐車場はございません



展覧会公式サイト

<https://okyokindai2019.exhibit.jp/>

# 円山 応挙 から 近代 京都 画壇へ

東京初! 円山・四条派のすべて



「松に孔雀図」部分 正徳文化財 複製 1971年(複製) 兵庫・大乗寺藏 通期展示

大乗寺襖絵 約10年ぶりの公開!!

2019年 8月3日(土)

9月29日(日)

前期後期で大展示替え! 前期:9/1(日)まで 後期:9/3(火)から

東京藝術大学大学美術館 台東区・上野公園

LEGENDARY KYOTO PAINTING FROM MARYUYAMA OKYO TO THE MODERN ERA

開館時間:午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで) 休館日:毎週月曜日(祝日又は振替休日の場合は開館、翌日休館) 主催:東京藝術大学、朝日新聞社 後援:台東区、協賛:岡村印刷工業

# すべては 応挙に はじまる。

本展のオープニングにしてハイライト。  
応挙とその一門による大乗寺障壁画を中心に、  
円山・四条派のオールスターを  
近代まで一挙で紹介。



円山応挙  
重要文化財  
「写生図巻(甲巻)」  
(部分)  
明和・安永元年  
(1771-1772)  
株式会社 千總蔵  
後期展示

円山応挙  
重要文化財  
「写生図巻(乙巻)」  
(部分)  
明和・安永元年  
(1771-1772)  
株式会社 千總蔵  
前期展示

## 美人、仙人。 物語を 紡ぐ。

円山・四条派の描く人物たちは穏やかで品格がある。  
意外に知られていないが、応挙は上村松園が大成した  
近代美人画の源流すら生み出していた。



## 円山 応挙から 近代京都 画壇へ

近世から近代へ  
画家たちの  
系譜をたどる  
円山・四条派展の  
すべて

その全貌に迫る、圧巻の展覧会です。  
これまでない最大規模で  
いかに近代日本画へと継承されたのか。  
円山・四条派の系譜が、  
日本美術史のなかで重要な位置を占める  
その表現の特徴を丁寧に追います。  
また、自然、人物、動物といったテーマを  
設定することによって、

18世紀、様々な流派が百花繚乱のごとく咲き乱れる京都で、  
円山応挙は写生画で一世を風靡し円山派を確立しました。  
また、与謝蕪村に学び応挙にも師事した呉春によって四条派が興り、  
写生画に瀟洒な情趣を加味して新たな一派が誕生します。  
この二派は円山・四条派としてその後の京都の主流となり、  
近代にいたるまで京都画壇に大きな影響を及ぼしました。  
本展は、応挙、呉春を起点として、長沢芦雪、渡辺南岳、岸駒、  
岸竹堂、幸野棟嶺、塩川文麟、竹内栖鳳、山元春挙、上村松園ら  
近世から近代へと引き継がれた  
画家たちの系譜を、一挙にたどりまします。



円山応挙  
重要文化財  
「松に孔雀図」  
(全16面のうち4面)  
寛政7年(1795)  
兵庫・大乗寺蔵  
通期展示

## 山川、滝。 自然を 写す。

円山・四条派の醍醐味は  
何と言っても風景表現にある。  
保津川、嵐山、近江八景など  
名所の数々を「写生」した  
その画風は、いち早く  
近代を予見させた。



円山応挙  
重要文化財  
「保津川図」  
(右隻)  
寛政7年(1795)  
株式会社 千總蔵  
後期展示

## 孔雀、虎、犬。 命を 描く。

動物たちをリアルに描いて  
18世紀の京都に  
革命をもたらした応挙。  
門下では虎の岸派、  
猿の森派などが活躍し、  
近代では竹内栖鳳らが  
その伝統を引き継いだ。



右  
円山応挙  
重要美術品  
「江口君図」  
寛政6年(1794)  
静嘉堂文庫美術館蔵  
前期展示

左  
上村松園  
「楚蓮香之図」  
大正13年頃(1924)  
京都国立近代美術館蔵  
後期展示

右  
岸竹堂  
「猛虎図」  
(右隻)  
明治23年(1890)  
株式会社 千總蔵  
前期展示

左  
長沢芦雪  
「薔薇蝶狗子図」  
寛政後期頃  
(1794-1799)  
愛知県美術館蔵  
前期展示

下  
竹内栖鳳  
「春暖」  
昭和5年(1930)  
愛知県美術館蔵  
前期展示

木村定三コレクション  
前期展示